

## 第1章 あいち小児保健医療総合センター 令和5年度保健活動概要

## I. 保健センター活動概要

保健センターの主な機能は①相談・支援、②教育・研修、③調査・研究、④情報提供の4つに分類される。本章ではそれぞれの機能に関して、今年度の活動の特徴を示し、その後それぞれの実績の概要を示す。

## 1. 相談・支援

- ・ 保健医療相談は、外来や病棟など医療部門の受診患者・家族からの療育・療養に関する相談が高い割合を占めている。救急部門開設（2016年2月）以降事故予防に関する相談が増加し、周産期部門の開設（2016年11月）以降、新生児や産婦からの相談が増加している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴い外来受診者数や入院患者数が減少した際でも、このような相談対応や患者支援の依頼件数の減少はほとんど認められず、センターの病院機能に大きく貢献した。
- ・ 子どもの病気や事故に対する相談と子育て相談の双方に対応している時間外電話相談は2020年の新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴い一時中断し、その後回線及び実施日を減らして再開し継続している。その為、対応した相談件数は減少したが、未だ相談ニーズに答え切れていない部分があると考えられる。

## 2. 教育・研修

- ・ 新型コロナウイルス感染症流行が持続する中で対面での研修が困難な状況が持続した。
- ・ 一部の研修は完全オンライン・ハイブリッド形式を取り入れ、結果として様々な理由でこれまで参加が困難であった参加者にも参加機会を提供することができた。

## 3. 調査・研究

- ・ 様々な厚生労働科学研究等の外部助成金による研究活動を行なった。
- ・ 日本小児保健協会及び日本小児科学会の委員会活動を行なった。
- ・ 学術集会は新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴いオンライン併用のハイブリッド開催が多かったが、例年と同数程度の学術集会発表を行なった。

## 4. 情報提供

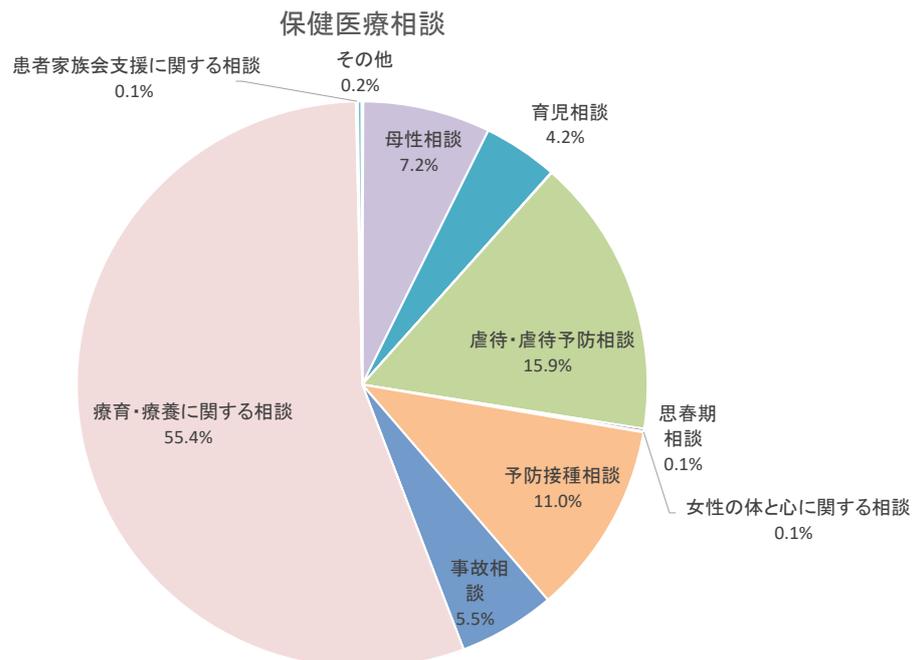
- ・ ホームページやパンフレットによる情報提供を継続し、センター受診患者増加への貢献している
- ・ 科学的根拠に基づいた幅広い対象への情報提供をおこなっており、令和3年度から運用が開始された愛知県母子健康診査マニュアル第10版もダウンロード可能になっている。

II. 実績概要

1. 相談・支援

2023 年度分野別相談件数（保健医療相談、時間外電話相談）

相談分類	保健医療相談		時間外電話相談		時間外 LINE 相談	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
調査・研究	3	0.0	0	0.0	0	0.0
教育・研修	0	0.0	0	0.0	0	0.0
情報サービス	1	0.0	0	0.0	0	0.0
母性相談	489	7.2	9	0.8	3	1.1
育児相談	287	4.2	868	73.4	244	90.4
アレルギー相談	2	0.0	1	0.1	0	0.0
遺伝相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0
SIDS 相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0
虐待・虐待予防相談	1,079	15.9	5	0.4	0	0.0
思春期相談	10	0.1	17	1.4	2	0.7
女性の体と心に関する相談	4	0.1	27	2.3	1	0.4
予防接種相談	747	11.0	9	0.8	6	2.2
事故相談	371	5.5	134	11.3	13	4.8
療育・療養に関する相談	3,752	55.4	0	0.0	0	0.0
患者家族会支援に関する相談	7	0.1	0	0.0	0	0.0
ボランティア	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	15	0.2	112	9.5	1	0.4
未分類	2	0.0	0	0.0	0	0.0
総 計	6,769	100.0	1,182	100.0	270	100.0



## 2023年度 相談方法別実施件数

相談方法名称	面接	電話	訪問	文書・メール	カンファレンス等	計
調査・研究	0	3	0	0	0	3
教育・研修	0	0	0	0	0	0
情報サービス	0	0	0	0	1	1
母性相談	92	164	0	1	232	489
育児相談	91	180	0	13	3	287
アレルギー相談	0	2	0	0	0	2
遺伝相談	0	0	0	0	0	0
SIDS 相談	0	0	0	0	0	0
虐待・虐待予防相談	233	762	0	9	75	1,079
思春期相談	1	8	0	0	1	10
女性の体と心に関する相談	2	2	0	0	0	4
予防接種相談	278	466	0	3	0	747
事故相談	147	212	0	0	12	371
療育・療養に関する相談	1,144	2,043	1	93	471	3,752
患者家族会支援に関する相談	5	2	0	0	0	7
ボランティア	0	0	0	0	0	0
その他	6	9	0	0	0	15
未分類	0	0	0	0	0	0
総計	1,999	3,853	0	119	795	6,767
比率	29.5	56.9	0.0	1.8	11.7	100.0

## 2023年度 相談者と相談対象者の続柄別の件数

相談者	保健医療相談	時間外電話相談	時間外LINE相談
本人	112	154	1
配偶者	3	2	0
母	1,157	986	266
父	117	34	2
きょうだい	0	1	0
祖父母等	5	4	1
母子保健関係者等	1,067	0	0
児童相談所等	160	0	0
医療機関	33	0	0
学校等	42	0	0
院内関係者	1,780	0	0
その他・不明	2,293	1	0
総計	6,769	1,182	270

第1章 保健活動概要

2023年度 相談者の地区別相談件数

地区名称	地区	保健医療相談		時間外電話相談		時間外LINE相談	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
名古屋市		665	10.2	338	3.5	77	15.4
知多地区	大府市	297	22.8	22	53.7	4	295.5
	東浦町	159	42.6	4	295.5	3	394.0
	東海市	285	23.8	28	42.2	6	197.0
	知多市	364	18.6	7	168.9	7	168.9
	他の知多	494	13.7	20	59.1	11	107.5
西三河地区	刈谷市	90	75.2	32	36.9	47	25.1
	豊田市	88	76.9	19	62.2	7	168.9
	他の西三河	662	10.2	152	7.8	48	24.6
東三河地区	東三河	215	31.5	81	14.6	13	90.9
尾張東部地区	尾張東部	154	44.0	42	28.1	4	295.5
尾張西部地区	尾張西部	246	27.5	219	5.4	34	34.8
他県		273	24.8	7	168.9	2	591.0
その他		2,777	2.4	211	5.6	7	168.9
総計		6,769	100.0	1,182	100.0	270	437.8

2023年度 院内各診療科からの相談件数

診療科名	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
総合診療科	138	2.9%	254	5.1%	273	4.3%	365	5.8%	358	7.2%	311	6.3%
感染・免疫科	107	2.2%	82	1.6%	100	1.6%	155	2.4%	122	2.5%	103	2.1%
腎臓科	263	5.5%	179	3.6%	338	5.3%	372	5.9%	237	4.8%	120	2.4%
アレルギー科	393	8.2%	268	5.4%	255	4.0%	166	2.6%	69	1.4%	44	0.9%
内分泌科	144	3.0%	56	1.1%	119	1.9%	199	3.1%	231	4.7%	197	4.0%
予防診療科					3	0.0%	9	0.1%	2	0.0%	4	0.1%
神経科	463	9.7%	584	11.7%	525	8.2%	620	9.8%	438	8.8%	369	7.4%
心療科	23	0.5%			90	1.4%	64	1.0%	0	0.0%	2	0.0%
循環器科	1008	21.0%	1,102	22.0%	1,301	20.3%	1482	23.4%	1105	22.3%	677	13.6%
心臓血管外科					3	0.0%	32	0.5%	12	0.2%	1	0.0%
脳神経外科	346	7.2%	286	5.7%	449	7.0%	526	8.3%	478	9.6%	418	8.4%
小児外科	144	3.0%	328	6.5%	185	2.9%	292	4.6%	108	2.2%	111	2.2%
整形外科	132	2.8%	48	1.0%	40	0.6%	127	2.0%	16	0.3%	51	1.0%
泌尿器科	69	1.4%	145	2.9%	172	2.7%	110	1.7%	78	1.6%	33	0.7%
形成外科	31	0.6%			8	0.1%	11	0.2%	12	0.2%	9	0.2%
皮膚科							6	0.1%	5	0.1%	0	0.0%
耳鼻咽喉科	46	1.0%	40	0.8%	69	1.1%	24	0.4%	3	0.1%	31	0.6%
眼科	29	0.5%	20	0.4%	15	0.2%	14	0.2%	9	0.2%	25	0.5%
歯科口腔外科	22	0.5%	1	0.0%	8	0.1%	31	0.5%	14	0.3%	17	0.3%
保健科					28	0.4%	94	1.5%	10	0.2%	1	0.0%
救急診療科	210	4.4%	257	5.1%	200	3.1%	185	2.9%	220	4.4%	183	3.7%
新生児科	710	14.8%	551	11.0%	503	7.8%	534	8.4%	746	15.0%	286	5.8%
産科	513	10.7%	808	16.1%	533	8.3%	909	14.4%	688	13.9%	444	8.9%
診療科相談計	4,791	100%	5,009	100%	5,217	100%	6,327	100.0%	4,961	100.0%	3,437	69.3%
保健医療相談総数	5,672		5,903		6,414		7,030		6,808		6,769	
診療科相談の割合	84.5%		84.9%		81.3%		90.0%		72.9%		50.8%	

## 2. 教育研修活動報告（研修会・講演会等実績、保健師が主催・実施したもの）

## 内容別実施状況

研修内容	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
事故予防研修	148	217	144	213	156	286
虐待予防研修	2	239	2	251	2	189
予防接種研修会	2	157	2	166	2	189
時間外電話・LINE相談員研修	3	21	3	23	4	36
国際母子保健研修	0	0	0	0	0	0
国際学校保健研修	0	0	0	0	3	25
保健所保健師母子保健実務者研修	2	5	0	0	1	3
地域保健医療連携研修	7	205	7	227	5	171
在宅療養児支援研修	1	48	1	116	1	88
その他	5	14	4	24	4	29
計	170	906	163	1,020	178	1,016

## 対象別実施状況

対象	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
保健福祉関係者	17	675	15	783	18	701
患者・家族、一般県民等	153	231	148	237	160	315
計	170	906	163	1,020	178	1,016

## 実施内容

研修名	開催日及び場所	内容	対象	参加者数
児童虐待予防研修会	令和5年12月18日（月） 場所：あいち小児センター 大会議室 ※オンライン配信併用	講演「それって本当にしつけ？～マルトリートメントをしてしまう養育者との信頼関係の築き方～」 講師 認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク 理事 高祖常子氏	市町村・保健所保健師、子育て支援担当課、要対協担当課、児童相談所職員等	79人 (内訳) 会場 18人 Web 61人
周産期子育て支援研修	令和5年12月4日（月） 場所：あいち小児保健医療総合センター 大会議室 ※オンライン配信併用	講演「産前産後のメンタルケア」 講師 楓の丘こどもと女性のクリニック 新井 康祥 氏 講演「一宮市の32週妊婦全戸訪問について」 講師 一宮市健康支援課 山本 恵理子氏 交流会	小児科・周産期医療機関及び市町村・県保健医療福祉関係者	110人 (内訳) 会場 25人 Web 85人

第1章 保健活動概要

<p>愛知県医療機関虐待対応 ネットワーク事業</p>	<p>令和6年2月1日(木) 場所: あいち小児センター</p>	<p>講演「BEAMS stage I」「BEAMS stage II」 講師 毎原 敏郎 氏</p>	<p>医療機関、児童相談所 市町村保健センター、 市町村要対協担当者 等</p>	<p>67人</p>
<p>保健所保健師母子保健実務者研修</p>	<p>①合同病院研修 令和5年7月10日(月) ②個別支援 令和5年7月～12月 ③事例検討会 令和5年7月～12月 ④合同評価会 ①場所: あいち小児センター ②③場所: 各保健所 ④場所: 三の丸庁舎</p>	<p>①虐待対応・権利擁護について LINE相談、電話相談 母子健康診査マニュアル 保健室における地域連携について グループワーク (保健所での母子保健活動について) 事故予防ハウスについて 病棟見学(NICU) ②アセスメント、支援計画策定、同行訪問 ③1回 ④1回</p>	<p>愛知県人材育成ガイドラインでキャリアレベルA-2またはA-2の獲得を目指す保健所保健師</p>	<p>3人</p>
<p>保健師のための専門講座</p>	<p>令和5年10月18日(水) 場所: あいち小児センター</p>	<p>講義「乳幼児の視覚の発達と乳幼児健診診査における視覚検査の意義について」 講師: あいち小児センター 視能訓練科 堀 普美子氏 講義「新生児及び乳幼児健診における聴覚評価の意義と早期発見・早期介入の重要性」 講師: あいち小児センター 言語聴覚科 笠原 伸洋氏</p>	<p>市町村保健師、保健所保健師</p>	<p>42人</p>
<p>在宅療養児支援研修会</p>	<p>令和5年11月1日(水) 場所: あいち小児センター ※オンライン配信併用</p>	<p>講義:「医療的ケア児・重症児とその家族が人生を楽しめる世の中を創る」 ～医療・福祉・教育・行政・当事者、それぞれができること～ 講師: 小児在宅クリニックみちくさ 小児科医・管理者 浅井 隼人 講義:「刈谷特別支援学校における医療的ケアを取り巻く環境」 ～保護者・看護師・教員の連携～ 講師: 刈谷特別支援学校 小学部主事 中森 琴美</p>	<p>保健所、市町村保健関係、学校関係者、訪問看護ステーション、保育園関係等</p>	<p>88人 (内訳) 会場23人 Web 65人</p>

母子健康診査マニュアル関連	令和6年2月16日 場所：春日井保健所母子保健推進会議	講話「母子健康診査マニュアルの連結データ活用」 講師：あいち小児センター保健センター 保健室長 杉浦 至郎先生	保健所・市町村母子保健担当者	19人
	令和6年3月8日 場所：瀬戸保健所母子保健担当者会議	講話「愛知県母子健康診査マニュアルの有効な活用に関して」 講師：あいち小児センター保健センター 保健室長 杉浦 至郎先生	保健所・市町村母子保健担当者	23人
時間外電話・LINE相談員研修会	第1回 令和5年9月19日（火）	<第1回> 時間外LINE相談員研修 講演「LINE相談研修～実践編～」 講師 W&H 代表 QOL コーチ 公認心理士 肥後道子氏	時間外電話・LINE相談員	第1回 8人
	第2回 令和5年12月4日（月）	<第2回> 周産期医療現場スタッフと取り組む子育て支援に関する研修会受講による研修 「周産期子育て支援研修」と共同開催		第2回 11人
	第3回 令和5年12月18日（月）	<第3回> 児童虐待予防研修会受講による研修 「児童虐待予防研修会」と共同開催		第3回 9人
	第4回 令和6年1月23日（火） 場所：あいち小児センター ※Web併用	<第4回> 時間外電話・LINE相談員研修会 講演「お薬相談における薬剤の知識」 講師 愛知県薬剤師会 薬情報センター 室長 竹林まゆみ氏		第4回 8人
愛知県予防接種基礎講座	共催：愛知県感染症対策局 感染症対策課 第1回 令和5年8月27日（日）	<第1回> ・ワクチンで予防できる疾患 ・ワクチンの種類と構成物 ・免疫のシステムとワクチンの働き ・日本の予防接種の仕組み ～定期接種と任意接種～ ・予防接種の効果の考え方 ・予防接種後の有害事象/副反応の考え方 ・成人のワクチン接種	行政予防接種担当、医療機関予防接種従事者等	第1回 会場31人 Web58台
	第2回 令和5年9月10日（日）	<第2回> ・愛知県の予防接種に関する取り組みについて		第2回 会場42人

第1章 保健活動概要

	<p>場所：今池ガスビル オンライン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチンスケジュールについて・接種間隔の考え方</li> <li>・予防接種間違いについて/防ぐための工夫</li> <li>・ワクチンの在庫管理について</li> <li>・アナフィラキシー/血管迷走神経反射への対応</li> <li>・ワクチン接種時の疼痛対策</li> <li>・ワクチン忌避と予防接種の勧め方</li> <li>・特別な背景がある人に対する予防接種</li> </ul> <p>&lt;講師&gt;                  岐阜大学大学院医学系研究科・医学部 感染症科 手塚 宜行先生                  安城更生病院小児科 鈴木 道雄先生                  江南厚生病院小児科 後藤 研誠先生                  藤田医科大学岡崎医療センター 河村 吉紀先生                  愛知県感染症対策局感染症対策課 安藤 萌花氏                  あいち小児センター総合診療科 伊藤 健太先生、                  小川 英輝先生                  樋口 徹先生                  奥村 俊彦先生</p>		<p>Web58 台  計 73 人 計 116 台</p>
関係機関対象研修	<p>愛知教育大学養教養成課程研修 令和5年7月5日(水) 場所：あいち小児センター</p>	<p>講話「保健センター保健室の活動について」 担当：保健室保健師</p>	<p>愛知教育大学養護教諭養成課程 3年生</p>	43人
	<p>JICA 学校保健研修 令和5年7月6日(木) 場所：あいち小児センター</p>	<p>事故予防教室 講師：保健室保健師</p>	<p>JICA 学校保健研修生</p>	8人
	<p>文京学院大学 保健医療技術学部実習 令和5年7月19日(水) 場所：あいち小児センター</p>	<p>講話「保健センター保健室の活動について」 担当：保健室保健師</p>	<p>作業療法学科 4年生</p>	1名
	<p>中部大学 令和5年8月7日(月) 場所：あいち小児センター</p>	<p>講話「小児慢性疾患児や医療的ケア児の保育及び地域連携について」 担当：保健室保健師</p>	<p>中部大学現代教育学部幼児教育学科</p>	8人

関係機関対象研修	ヤングリーダープログラム研修 令和5年9月14日(木) 場所: あいち小児センター	講話「日本の保健師活動と役割について」 担当: 保健室保健師	名古屋大学ヤングリーダープログラム 研修生	7人
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 令和5年10月11日(水) 場所: 中区役所ホール	講義「医療的ケア児の家族支援とマルトリートメント」 担当: 保健室保健師	医療的ケア児等コーディネーター養成研修生	100人
	JICA キルギス医療団研修 令和5年12月6日(水) 場所: あいち小児センター	講話「アチェメック健康スクール」 担当: 保健室保健師	JICA キルギス医療団 NCD 研修	9名
家族支援関連	NICU 卒業児の親の会 (にこにこの会) ① 令和5年7月12日(水) ② 令和5年10月13日(金)	NICU 卒業児の会 (にこにこの会) 染色体異常を持つNICU 卒業の親支援グループ	NICU を入院中、または退院後の子どもを持つ保護者	① 8人 ② 15人 計 23人
	医療的ケア児を持つ保護者の会 (ぼこあぼこ) ① 令和5年6月30日(金) ② 参加希望者なしのため中止	医療的ケア児の会 (ぼこあぼこ) 医療的ケアを抱える親支援グループ	医療的ケアを抱える子どもの保護者	① 3人 ② 中止 計 3人
事故予防	事故予防教室 (定例) 毎月第3金曜日 (4月、3月除く) 場所: あいち小児センター	事故予防ハウス等での事故予防教育・事故予防指導	乳幼児を持つ家族及び事故予防教育に関心のある県民  外来・入院患者の家族 事故により救急外来を受診した家族	教室 定例 12回 41人 定例外 2回 3人 随時 142回 242人 計 286人
アチェメック健康スクール	健康スクール外来 7~8月、10月、12~1月 健康スクール講話 (動画) 随時 場所: あいち小児センター	スクール ・診察、身体測定、医学的検査、栄養指導、運動指導、生活習慣指導、歯科診察 (希望者)  講話 ・健康を学ぼう	学校健診等で肥満による生活習慣病の予防が必要とされた子ども及び保護者	スクール 計 3人  講話 3人  計 6人

## 第1章 保健活動概要

愛知県小児保健協会	令和6年1月14日(日) 場所：あいち小児センター	特別講演 「歯科医師が障害児にできること ―障害児の口腔の健康のために―」 講師：愛知学院大学歯学部 小児歯科学講座 教授 名和 弘幸 氏 一般演題発表 6題	愛知県内で小児保健に携わる関係者等	会場 40人 Web 29台 計 69人
-----------	------------------------------	---	-------------------	----------------------------

### 3. 調査研究

#### 3-1. 論文と学会発表・講演等実績

本年度の学術活動の結果として論文等の誌上発表を16本（うち英語論文9本）行い、筆頭演者として11演題の学会発表を行なった。

#### 3-2. 公的補助金研究

以下の合計3つの厚生労働科学研究費補助金各研究事業研究班の研究分担者や研究協力者として研究を行い、合計4本の報告書を作成した。

【厚労科研】「成育基本法を地域格差なく継続的に社会実装するための研究」  
（研究代表者 山梨大学社会学講座 山縣然太郎）  
「母親のヘルスリテラシーと健やか親子21（第2次）の指標との関連の縦断分析」

【厚労科研】「乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究」  
（研究代表者 国立保健医療科学院 横山徹爾）  
「4か月児健康診査の身体測定値に測定月が与える影響の評価」

【厚労科研】「乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究」  
（研究代表者 国立保健医療科学院 横山徹爾）  
「愛知県内市町村乳幼児健康診査における身体計測結果の11年間の変化」

【厚労科研】「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に乳幼児・学童・思春期の健やかな成長・発達をポピュレーションアプローチで切れ目なく支援するための研究」  
（研究代表者 福岡大学 永光信一郎）  
「愛知県乳幼児健康診査情報を用いた標準化と精度管理に関する研究」

## 第1章 保健活動概要

### 4. 情報提供

小児保健医療 情報サービス 活動	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ホームページの運営 令和5年度の年間ページ閲覧件数 667,008 件のうち、保健部門のページ閲覧件数 109,409 件であった。</li><li>2. 広報誌の発行 あいち小児保健医療総合センターだより「アチェメックの風」計2回（第62号, 第63号）発行。</li><li>3. 母子健康診査マニュアル集計報告 愛知県事業である母子健康診査マニュアルの市町村保健センターからのデータを、愛知県保健所を介して集計・分析した。</li></ol>
------------------------	---

## 課題毎実績

<p>妊娠期からの 児童虐待予防 ・対応活動</p>	<p>1. 妊娠期からの児童虐待予防・対応活動</p> <p>1) 専門家への対応と事例への対応 虐待・虐待予防に関する保健医療相談は 1,079 件で全相談の 15.9%であった。時間外電話相談にも 5 件の相談があった。</p> <p>2. 院内での虐待の早期発見・支援活動</p> <p>1) 権利擁護委員会ケース検討会議の実施 今年度新規事例及び前年度からの継続事例に対し個別ケース会議を 67 回開催した。</p> <p>2) 権利擁護委員会ネットワーク会議の活動と虐待ケースの進行管理の実施 ネットワーク会議は、センター内保健・医療の各部門からの構成員 28 名で組織され、令和 5 年度は 6 回開催し、新規事例 64 事例について進行管理を行った。センターからは児童相談所へ 12 件の通告を実施した。</p> <p>3. 周産期からの虐待予防活動</p> <p>1) 院内での虐待予防活動 平成 28 年 11 月に周産期部門（産科・NICU）が開設されたことから胎児異常のある妊婦のメンタルヘルスへの地域を含めた早期介入、家族形成期にある家族のこころの動揺に対する細やか家族支援を行うこと、虐待予防の観点からも妊娠期から切れ目のない支援を行うことを目的に連携会議を発足させ、平成 30 年度家族支援委員会となり月 1 回要支援家族の検討や院内の連携体制の整備、支援内容の充実に向けた話し合いを行っている。</p> <p>2) ハロー・ファミリーカード事業 あいち小児保健医療総合センターの HP にハロー・ファミリーカードダウンロード用ファイルを掲載し、各機関で編集の上、利用可能としている。</p> <p>3) 保健機関における周産期から乳幼児期の保健活動集約と医療機関等への情報提供 周産期医療機関との連携を図るため、保健機関に対し、妊娠期、乳幼児期の母子保健活動についての情報更新を依頼している。平成 29 年度からは、母子保健活動に加え子育て世代包括支援センターや児童福祉サービスも一元的に情報提供できるよう様式を変更し、ホームページで発信している。</p> <p>4) 研修会の開催 以下の研修会を開催した（2. 教育・研修 参照）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆周産期医療現場スタッフと取り組む子育て支援に関する研修会</li> <li>◆児童虐待予防研修会</li> </ul>
<p>時間外 電話・LINE 相談活動</p>	<p>1. 時間外電話・LINE 相談「育児もしもしキャッチ・育児つながる LINE」の運営 電話相談員を 1 日当たり 3 人として連日実施していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響を受け一時休止、その後 2 人体制週 3 日で再開令和 3 年度以降は 1 日あたり 2 人、週 3 日の体制を継続、令和 5 年 5 月からは LINE を用いた育児相談を開始した。相談員の確保は安定しており必要人員の 100%の充</p>

	<p>足率であった。相談件数は、電話 1,182 件で昨年度 1,363 件から減少した。また LINE 相談は 270 件あった。</p> <p>2. 専門相談員の連絡会・研修会・事例検討会 相談の質の向上のために 4 回実施した。育児もしもしキャッチの相談内容分析を行い、広報活動としてカード・ポスターの配布、相談員確保の為の活動を実施した。</p>
<p>子どもの 事故予防活動</p>	<p>1. 子ども事故予防ハウスの運営 事故予防ハウスの利用者は 256 名であった。また事故予防ハウスで実際の浴室や階段、台所における予防策の体験や、当センターで作成した DVD「子どもの事故予防」やパネル等の媒体による事故予防情報の提供を行った。事故体験の募集のために設置したポストに 7 件の事故体験が寄せられた。</p> <p>2. 子どもの事故予防教室の実施 子ども事故予防ハウスで実施した「子どもの事故予防教室」（近隣住民および子育て支援関係者対象）には 14 回 44 名が参加した。</p> <p>3. 調査研究活動 子どもの事故サーベイランス調査を、碧南市（平成 14 年 11 月～）、知多市（平成 14 年 12 月～）の 1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診で継続して実施した。</p> <p>4. 小児救急事故予防対策事業 平成 28 年 2 月に救急棟がオープンし、同 3 月小児救命救急センターに指定された。以降家庭内の事故等で受診したケースに対して、救急科医師等からの介入依頼が増加し、救急科と保健部門との連携体制を強化することを目的に、平成 29 年度から小児救急事故予防対策事業を開始した。家庭内の事故等で救急外来を受診した患者のうち、事故予防指導が必要と救急科医師が判断したケース（外来患者・入院患者の家族 157 名：令和 5 年度）について、保健師から、事故予防ハウス、事故チェックリストなどを活用して保健指導を実施した。</p>
<p>在宅療養支援 院内・地域との 連携活動</p>	<p>1. ケースを通しての院内連携 医療部門からの連絡は総計 331 件であった。周産期部門との連携体制の構築により、妊娠期からのハイリスクケースの連絡は 68 件、周産期退院支援スクリーニングシートによる 14 件であった。 入院中(+産科外来)の連絡件数は 250 件で、令和 4 年度(320 件)より減少した。病棟別連絡件数では 20 病棟(+産科外来)が 68 件(27.2%)と最も多く、32 病棟 44 件(17.6%)、PICU 病棟 36 件(14.4%)、21 病棟 31 件(12.4%)、31 病棟 18 件(7.2%)、23 病棟 17 件(6.8%)、NICU 14 件(5.6%)、22 病棟 12 件(4.8%)と、全ての病棟から依頼があった。 外来を含む診療科別連絡件数は、産科 70 件、脳神経外科 44 件、循環器科 41 件、神経科 41 件、総合診療科 36 件、内分泌代謝科 13 件、集中治療科 13 件、感染免疫科 12 件の順に多かった。</p> <p>2. 地域との連携 地域からの連絡は 20 件であった。連絡元は市区町村の保健センターからが 11 件(55.0%)大多数を占め、内容は受診内容に関する問い合わせがほとんどであった。</p>

	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 在宅療養支援におけるカンファレンスの状況 在宅療養等に向けたカンファレンスを195回開催し、うち73回は訪問看護ステーションや福祉機関、保健機関等の院外関係者を招いて開催した。</li> <li>4. 在宅療養児支援研修 平成17年度から、訪問看護ステーションに勤務する看護師等を対象に、小児の受け入れ態勢の充実をめざした研修会を開催している(2.教育・研修 参照)。</li> <li>5. 医療ケア児を育てる保護者のためのグループミーティング 平成26年度から在宅療養児支援研修の一貫として、保護者による交流会の場「ほっとたいむ ポコアポコ」を開催している。(2.教育・研修 参照)。</li> <li>6. NICU卒業児の親の会(染色体異常、遺伝疾患) 気軽な気持ちで参加できる、同じ境遇を経験してきた家族同士の交流の場を設ける目的で平成29年度以降「にこにこの会」を開催している。(2.教育・研修 参照)。</li> <li>7. 保健所保健師母子保健実務者研修 「母子保健における新任期の保健所保健師の人材育成のための実務研修」をテーマに愛知県健康対策課母子保健グループと協働して実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の流行以降、研修実施が困難な状況となった。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを機に、当研修を再開した。(2.教育・研修 参照)。</li> <li>8. 保健師のための専門講座 母子保健活動における専門的知識を深める目的で平成29年度より実施している。(2.教育・研修 参照)。</li> </ol>
<p>子どもと家族のヘルスプロモーション活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. こどもの生活習慣病予防教室 「アチェメック健康スクール」(こどもの生活習慣病予防教室)は、内分泌科のアチェメック健康スクール外来を中心とした通年型の活動として実施している。令和4年度参加者は3名(新規3名)であった。年度中にスクールを終了した2名中1名の肥満度が改善した。県内の学校、保健関係者の相談の受け皿、対象児の紹介先の資源として機能している。</li> <li>2. 親子のタバコ対策活動 ホームページやセンター内掲示等の受動喫煙防止の啓発資料作成、掲示を継続。</li> </ol>
<p>愛知県予防接種センター事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接種要注意者、海外渡航者等に対する予防接種の実施 予防接種実施件数696件。平成26年より「愛知県広域予防接種事業」が開始となり、県下54市町村全ての地域で、市外かかりつけ医のもとで予防接種を受けることができるシステムとなり、県内全ての対象者に実施可能となっている。</li> <li>2. 保健医療相談及び情報提供 相談件数747件 2022年3月1日より小児への新型コロナワクチン接種後の副反応等に対応する専門相談窓口を開設している</li> <li>3. 研修会の実施</li> </ol>

第1章 保健活動概要

	<p>感染症対策局感染症対策課との共催で愛知県予防接種基礎講座を web 会議システムにて実施した。第1回（令和5年8月27日）参加者：89名、第2回（令和5年9月10日）参加者：100名で、市町村の予防接種担当や医療機関の医師・看護師等が参加した。</p>
<p>国際保健 医療活動</p>	<p>ヤング・リーダーズ・プログラム（名古屋大学大学院医学系研究科・医療行政修士コース） 名古屋大学大学院医学系研究科 医療行政学修士課程一年コース 医療行政学修士課程の留学生に対して、以下の研修を実施した 実施日程：2023年6月14日（火）講義 2023年9月14日（木）あいち小児保健医療総合センター見学・講義 医療行政学修士学生7名：カンボジア（2名）、マレーシア（2名）、 ミャンマー（2名）、タイ 研修内容：日本の小児保健、学校保健</p>
<p>国際学校保健 活動</p>	<p>1. JICA 課題別研修事業：2022年度「学校保健」コース (1) コース名 和文：2023年度課題別研修「学校保健」コース 英文：Knowledge Co-Creation Program “School Health 2023” (2) 研修期間：2023年6月5日から2023年7月14日の期間でオンライン、及び来日研修 (3) 研修員と参加国（7か国8名） バングラデシュ、エクアドル、ラオス、マレーシア、モンゴル、ネパール、パラオ(4) (4) コース目標 日本の学校保健制度や学校における取り組みを理解し、自国の学校保健システム改善に資する政策・制度・改善に係る示唆を得て、自国内の関係者に普及させることを目的とする。</p>
<p>多文化共生支援 活動</p>	<p>1. あいち医療通訳システムの実施 愛知県（地域振興部国際課多文化共生推進室）が企画した医療機関等の依頼に応じて、一定レベル以上の知識を持った医療通訳の派遣等を行うシステム構築を目指した平成23年度のモデル事業の参加を踏まえ平成24年度から本格実施に参加した。 個別に通訳依頼があった件数は10件で、昨年度と同数であった。その内、高度通訳は9件（90%）であった。言語別では、ポルトガル語が7件で最も多く、フィリピン語2件、スペイン語1件であった。診療科別では内分泌科3件、脳外科・神経科・眼科がそれぞれ2件ずつであった。高度通訳は手術前の麻酔、手術に関する説明や病状悪化に伴う治療方針のインフォームドコンセント等に用いられていた。15件の電話通訳利用、13件の文書翻訳利用があり共に昨年度より大きく増加した。</p>